



デジタル田園都市国家構想
DIGIDEN

＼デジタル技術の活用とデジタル田園都市国家構想に係る
取組の推進を目指して／

令和6年度第1回
大船渡市デジタル創生研究
プロジェクト・チーム会議

5/22(水) 13:30～



次 第

1 開 会

2 部長あいさつ

3 新メンバーの紹介

4 内 容

(1)磯崎 デジタル推進アドバイザーから

(2)令和6年度 of 取組概要について

(3)グループワーク

(4)その他

▶次回会議予定 6/25(火) 10:00~@地階大会議室

5 閉 会

プロジェクト・チームによる成果

- ・令和4年9月20日に初会合、その後、令和5年度末までに三つの班（Well-being班、Sustainability班、Innovation班）で計**22回**の会議のほか、外部団体との意見交換や先進地視察、オンラインセミナーの受講等を多数実施。
- ・プロジェクト・チームによる研究成果をベースとして、次のプロジェクトの**実装・事業化が実現**。このほか、一部、研究継続中。

①書かない窓口

R4/12

- ・研究成果として「**おおふなと版窓口改革（案）**」の発表、庁内共有

R5/4

- ・デジ田交付金の交付決定
- ・関係課による庁内検討開始（各課で仕様検討～契約など）

R6/2

- ・窓口環境の改善（ローカウンターの導入、窓口サイン表示の更新）

R6/3

- ・書かない×ワンストップ窓口運用開始（総合窓口支援システム、番号札発券機、キャッシュレス対応POSレジ、デジタル庁舎案内板）

②行かない窓口

R5/11

- ・研究成果として「**おおふなと版窓口DX(行かない窓口)**」の発表、庁内共有

R6/1

- ・デジ田交付金に係る内閣府との事前相談～交付申請

R6/4

- ・デジ田交付金の交付決定

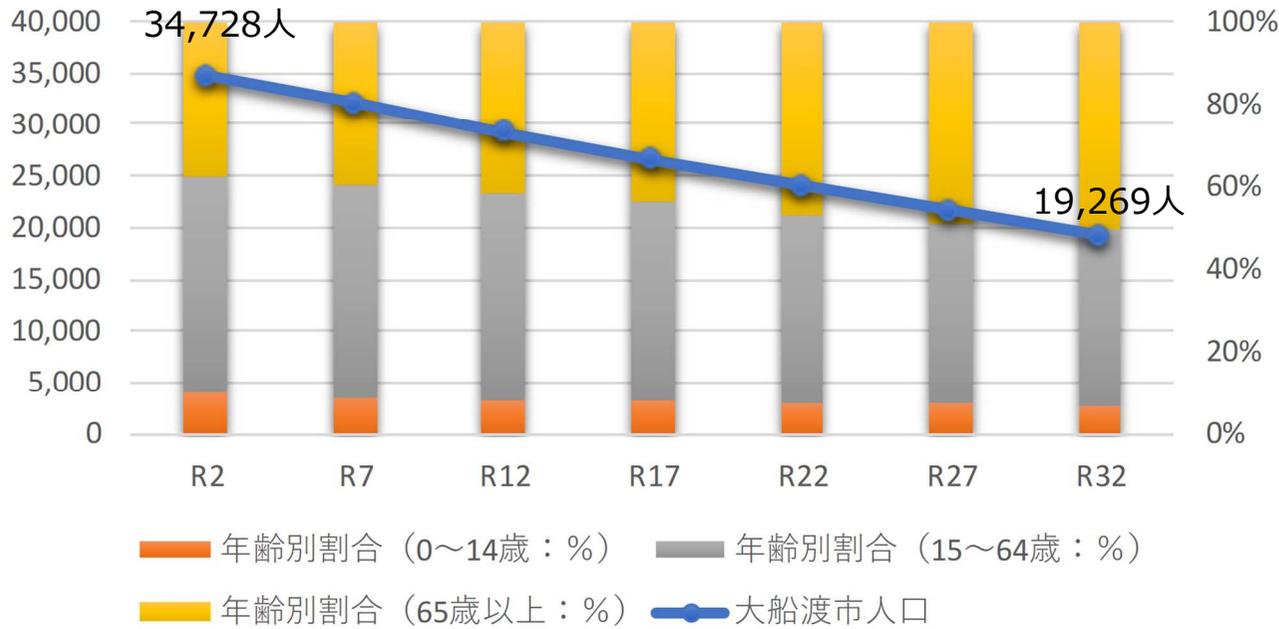
R6/6

- ・6月補正予算計上
- ・関係課との庁内検討開始 ※予定

プロジェクト・チーム発足後の約2年間の動き①／人口の動向

- ・ 国立社会保障・人口問題研究所による人口推計では、**34,728人(R2)**であったのが、R32には**19,269人**まで減少（△**15,459人**、△**44.5%**）、同じく生産年齢人口は18,199人→8,191人に、約1万人減少する見込み。
 - ・ 人口戦略会議は、当市を含む県内26市町村を「**消滅可能性自治体**」として公表。
- ➡ 「消滅」 = 人口減少が進み、自治体運営が立ちゆかなくなる状況。

社人研による人口推計



市町村別の人口減少将来推計

	総人口(人)		若年女性人口減少率(50年、%)	前回比較(増減率、%)
	2020年	2050年推計		
盛岡市	289,731	225,333	35.0	8.5
宮古市	50,369	26,633	61.5	▲0.4
大船渡市	34,728	19,269	59.8	2.1
花巻市	93,193	60,720	48.5	▲1.5
北上市	93,045	73,928	39.8	▲4.4
久慈市	33,043	17,896	67.9	▲6.0
遠野市	25,366	13,201	61.7	▲0.5
一関市	111,932	61,196	60.0	▲4.2
陸前高田市	18,262	9,617	61.7	4.1
釜石市	32,078	16,363	61.8	0.2
二戸市	25,513	13,701	61.4	▲3.2
八幡平市	24,023	11,349	68.3	1.0
奥州市	112,937	69,375	54.3	▲1.8
滝沢市	55,579	44,032	37.9	▲4.8
幸石町	15,731	8,112	61.5	1.9
葛巻町	5,634	2,389	66.4	3.4
岩手町	12,285	5,464	69.8	▲0.7
紫波町	32,147	23,581	41.7	1.6
矢巾町	28,056	22,283	41.7	9.9
西和賀町	5,134	1,940	74.4	1.6
金ケ崎町	15,535	11,516	40.1	▲14.7
平泉町	7,252	3,790	59.1	▲2.1
住田町	5,045	2,475	59.4	4.0
大槌町	11,004	5,394	63.9	5.0
山田町	14,320	6,703	69.0	▲4.7
岩泉町	8,726	4,099	67.4	3.0
田野畑村	3,059	1,388	70.2	2.3
普代村	2,487	1,057	78.6	▲3.0
軽米町	8,421	4,007	69.4	▲7.7
野田村	3,936	2,104	58.4	12.6
九戸村	5,378	2,550	62.3	▲10.7
洋野町	15,091	6,821	75.4	▲7.1
一戸町	11,494	4,956	69.6	▲0.6

「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」(社人研、令和5年12月公表)

※人口戦略会議「持続可能性分析結果リスト」から作成。
若年女性人口減少率(50年)は、移動傾向が一定程度続く仮定の20~39歳女性減少率。▲はマイナス

プロジェクト・チーム発足後の約2年間の動き② / 外から向けられる目

- プロジェクト・チームの継続した活動が市内外に知られるようになり、先進地視察の受入れ（東松島市）を行ったほか、市内の経済団体（商工会議所青年部＝若手経営者等）からの申し出により、意見交換を実施。

東松デジ第10号
令和5年7月4日

岩手県大船渡市
市長 瀧上 清 様
(企画調整課扱い)

宮城県東松島市長 渥 美 巖
(公 印 省 略)

DX 推進に係る先進地視察について(依頼)

向暑の候、貴市におかれましては益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、本市では今年4月にデジタル推進課を立ち上げ、DXにより市民の利便性と行政の効率化を推進するため、先進的な事例及びDX関連の情報収集を実施しております。

つきましては、貴市の「大船渡市デジタル創生研究プロジェクト・チーム」の取り組み等について、今後の本市での取り組みの参考とさせていただくため、ご指導賜りたくお願い申し上げます。

記

- 1 日 時 令和5年7月13日(木) 午前10時から
- 2 視察依頼内容
 - (1) BPRの取り組み方について
 - (2) 大船渡市デジタル創生研究プロジェクト・チームについて
 - (3) 職員研修について
- 3 視察訪問者 6名

陸前高田市

令和5年10月27日付 7面

将来の提言にもつなげる 商議所青年部が「海来(みらい)会議」 市職員と初の意見交換会(別写真あり)



▲ 大船渡商工会議所青年部のメンバーと市職員が、デジタルを活用した地域振興などに関して意見交換

大船渡商工会議所青年部(米谷直会長、大船渡Y E G)は25日、大船渡町のまるしちザ・プレイスで「海来会議」を初開催した。大船渡市役所のデジタル創生研究プロジェクト・チームのメンバーらと会員が懇談し、DX(デジタル・トランスフォーメーション=デジタル技術を活用した業務・組織・風土の改革)をどう生かせば、市の商業、観光、教育、市役所窓口業務をより良いものにしていけるかについて意見交換した。大船渡Y E Gは今後も年1回程度同様の会議を開催することで、市に対する政策提言や官民協働の土台づくりをしていきたい考えだ。(鈴木英里)

プロジェクト・チームが目指すところ① / 大船渡市のDXの現在地！

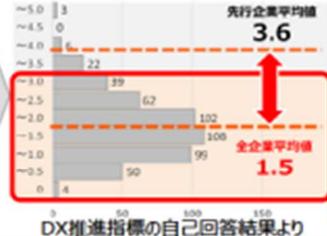
DXレポート2のサマリー（DX加速シナリオ）

①これまでのDX政策とその結果

DXレポート(2018)以降

企業のDX推進状況に大きな差

①DX推進指標、デジタルガバナンスコード（DX認定、銘柄）に取り組み、企業のDXを推進
②一方、先般のDXレポートでは「DX=レガシーシステム刷新」など、本質ではない解釈を生んでしまい、また、「現時点で競争優位性が確保できていればこれ以上のDXは不要である」という受け止めも



②コロナ禍で明らかになったDXの本質

コロナ禍で見られた事象

①事業環境の変化に迅速に対応できた企業と、そうでない企業の差が開いている
②押印、客先常駐、対面販売など、これまでは疑問を持たなかった企業文化（業務・慣習）が変革の阻害要因に
→先送りしてきた課題がコロナ禍により一気に表出

コロナ禍で明らかになったこと

「素早く」変革「し続ける」能力を身に付けること、その中ではITシステムのみならず企業文化(固定観念)を変革することの必要性が明らかに(DXの要)

DXは、ITシステム更新の問題から企業文化刷新の問題へ

目指すデジタル社会の姿

- 社会課題の解決や新たな価値、体験の提供が迅速になされ、安心・安全な社会が実現
- デジタルを活用してグローバルで活躍する競争力の高い企業や、カーボンニュートラルをはじめとした世界の持続的発展に貢献する産業が生まれる



デジタル企業

デジタルガバナンス・コード/DX銘柄

企業内に事業変革の体制が整い、環境の変化に迅速に対応できる

③コロナ禍により高まるDXの緊急性

デジタルの浸透

DXの緊急性

①デジタルサービスが提案する新たな価値を享受することが当たり前
②コロナ禍を通じて人々の固定観念が変化。テレワークなどをはじめとしたデジタルによる社会活動の**変化は元に戻らない**
→ビジネスにおける価値創出の中心がデジタルの領域に移行

顧客の変化に対応するにはデジタルは必須。ビジネスを今変化させなければ、**デジタル競争の敗者**となる。
企業の変革を推進するパートナーとなるため、これまで企業のITシステム構築を担ってきた**ベンダー企業も変革が必要**。

レガシー企業文化からの脱却

デジタル企業への変革プロセス

全体の9割以上

DX未着手企業

DXについて知らない

DX途上企業

DXを進めたいが、散発的な実施に留まっている

DXの認知・理解

- DX事例集の提供
- 知見を集める場の提供

製品・サービス活用による事業継続・DXのファーストステップ

- ツール導入に対する支援

直ちに（超短期）取り組むアクション

DX推進体制の整備

- 共通理解形成のためのポイント集の策定
- CIO/CDXOの役割再定義

DX戦略の策定

- DX成功パターン策定の策定
- デジタルガバナンス・コード業種別リファレンスケース
- デジタルガバナンス・コード/DX認定

DX推進状況の把握

- DX推進指標等
- レガシー刷新の推進

短期的対応

産業変革のさらなる加速

- ユーザー企業とベンダー企業の共創の推進
- 研究開発に対する支援
- デジタル技術を活用する変革の支援

デジタルプラットフォームの形成

- 共通プラットフォーム推進
- デジタルアーキテクチャ推進

DX人材の確保

- リスク・流動化環境の整備

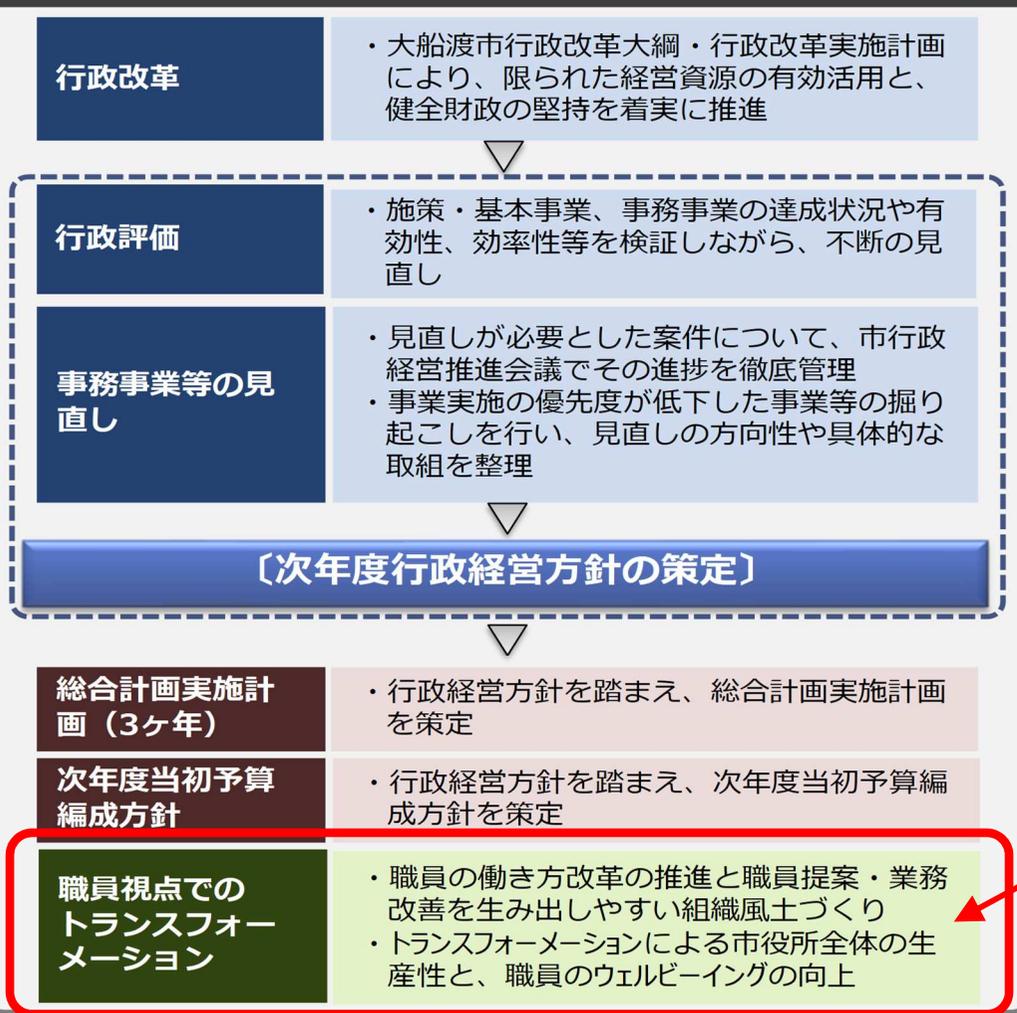
中長期的対応

- 事業変革の環境整備
- デジタル社会基盤の形成
- 人材変革
- 産業変革の制度的支援

プロジェクト・チームが目指すところ② / DとXの先導役～加速へ！

- 行政経営方針に記載しているとおり、行政改革、行政評価、事務事業等の見直しといったことに取り組んでいるが、社会の変化速度に対応するためには、**行政“変革”**が必要。
- そのため、改革・改善が日常にある組織風土をつくることはもちろん、生産性やウェルビーイングの向上を見据え、**職員視点でのトランスフォーメーション (X)** の**水平展開**が必須。

＼おおふなと版 行政経営システム／



〔現状〕

- DXの認知・理解が進みつつある状況だが、**D**>**X**という、デジタル側に偏った認識や、デジタル技術を目的化する風潮。

Xの日常化

- D**と**X**は両輪で進める必要があり、とりわけ“**X**”の実践が日常化する組織へと進化し、社会の変化を的確に捉えていく必要！
- 皆さんの取組が各部署で知られることで、“**X**”が広く組織全体に拡散することを期待➡市役所全体の生産性向上+職員のウェルビーイングの向上に発展！

令和6年度デジタル創生研究プロジェクト・チーム会議の開催予定

- 今年度のプロジェクト・チームの開催日程は次のとおり。

	日程	開始時刻	場所
第1回	5/22 (水)	13:30	地階大会議室
第2回	6/25 (火)	10:00	地階大会議室
第3回	7/19 (金)	13:30	地階大会議室
第4回	8/21 (水)	10:00	地階大会議室
第5回	9/25 (水)	10:00	地階大会議室
第6回	10/24 (木)	13:30	地階大会議室
第7回	11/21 (木)	13:30	地階大会議室
第8回	12/26 (木)	13:30	地階大会議室
第9回	1/22 (水)	10:00	地階大会議室
第10回	2/12 (水)	10:00	地階大会議室
第11回	3/14 (金)	10:00	地階大会議室

成果発表会！
マスコミを入れ、市幹部職員向けに研究成果を発表。

- 先進地視察として、**関東エリア（8人×2か所）**、**東北エリア（8人×1か所）**を予定。**皆さん1回ずつは参加**してもらい、先進事例に触れる機会とするもの。
- ➡具体的な視察先は今後検討。**今年度上半期中の視察を予定。**

〔参考〕ワンストップ業務導入に関するロードマップ

○ライフイベントを対象としたワンストップ化へ

- ・ワンストップ業務導入に関するロードマップは下表のとおり。
- ・令和6年度から、**ライフイベント（死亡・転出・転入・転居・出生・婚姻・離婚）**を対象とした**ワンストップ業務**を導入予定。

➡関係各課に対し、令和5年度に調査した内容を基に、別途、対象とする業務内容等を照会。

項目	R5	R6	R7	R8	R9
デジタル田園都市国家構想総合戦略	デジタル田園都市国家構想総合戦略の期間：R5～R9				
	地域再生計画の認定による企業版ふるさと納税の寄附受入：～R9				
書かない×ワンストップ窓口	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> 〔実装〕 税 戸籍 住基 印鑑 </div>	<div style="border: 1px solid blue; padding: 5px;"> 〔実装〕 死亡 転出 転入 転居 </div>	<div style="border: 1px solid blue; padding: 5px;"> 〔実装〕 出生 婚姻 離婚 </div>	<div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; text-align: center;"> 部分的な対象業務の順次拡大 </div>	
行かない窓口	<div style="border: 1px solid blue; padding: 5px;"> 交付金 申請 </div>	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> 実装 </div>	<div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; text-align: center;"> LINE、ホームページ、公共施設予約システムの運用 </div>		
	<div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; text-align: center;"> 行かない窓口対象業務の順次拡大 ※企業版ふるさと納税活用 </div>				

〔参考〕 令和6年度の導入スケジュール概要

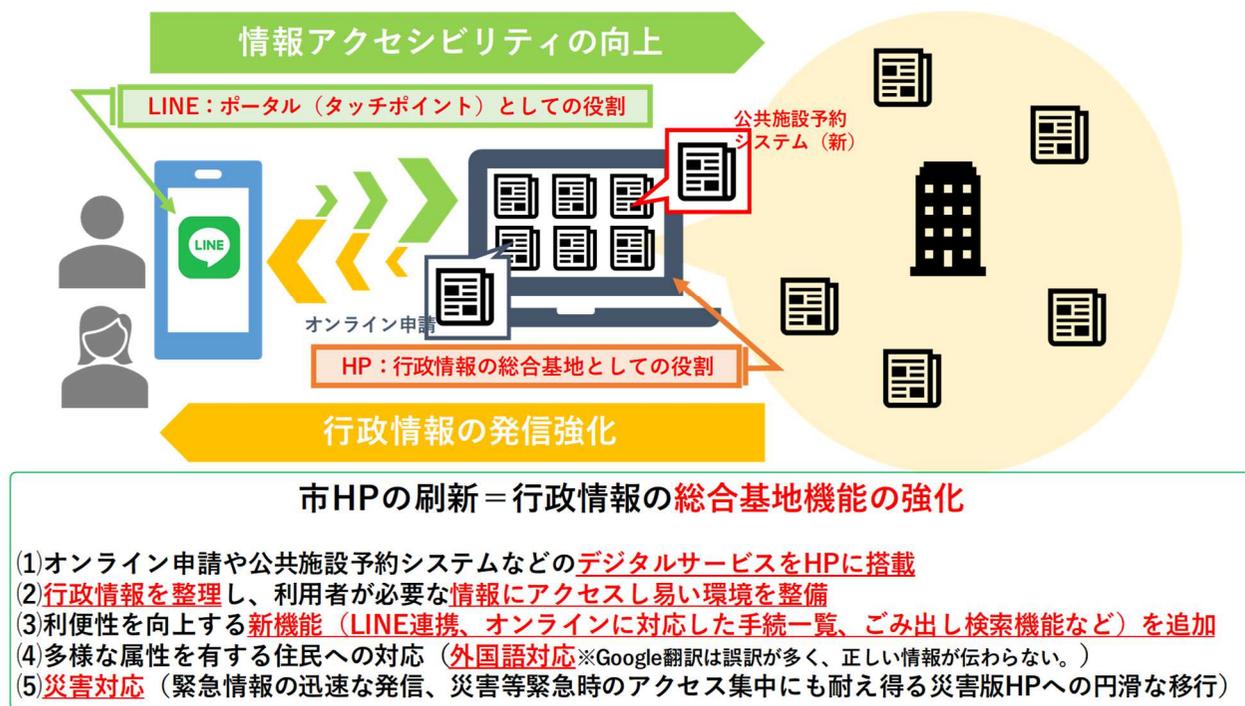
- 令和6年度の導入スケジュール概要は次のとおり。
- ワンストップ業務の拡大は、**1月稼働を目標**に取り組むを推進。
- p10の「ワンストップ業務導入に関するロードマップ」を基本としつつも、利用者目線での窓口の実現、職員の負担の軽減（手続き別の案内窓口の誘導を極力シンプルにすることなど）を図る観点から、**可能な限り前倒しして、令和6年度の運用開始を目指す。**
- 進捗状況等はPT会議で共有予定。

	令和6年度			
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
ワンストップ業務に係る各課再照会	→			
システム構築・検証等 ※事業者	→			
窓口DX関係課長会議、同担当者会議ほか	○	※課長会議等は進捗に応じて随時		○
	→ 担当者会議や個別ヒアリング等を予定			
職員向け研修・ロールプレイ			研修	ロールプレイ
ワンストップ業務の拡大 = 稼働				○

稼働!

〔参考〕行かない窓口(LINE、市HP、公共施設予約システム)

- 「書かない×ワンストップ窓口」のその先にある、オンラインで手続きが完結する**“行かない窓口”**の実現を目指し、令和6年度、**LINE**を入口としてその機能拡充を図るとともに、**市ホームページ**と**市公共施設予約システム**をリニューアル、それぞれの機能連携による利便性向上を促進。
- 進捗状況等はPT会議で共有予定。



LINEを入口とした「行かない窓口」 + デジタルサービスの基盤整備



デジタル創生研究プロジェクト・チームの活動は？

〔デジタル創生研究プロジェクト・チーム設置要綱〕

(設置)

第1条 地域課題の解決に向けたデジタル技術の活用及びデジタル田園都市国家構想に係る取組の推進に寄与するため、…プロジェクト・チームを設置する。

2 研究プロジェクト・チームは、プロジェクト・チーム規程第2条に規定するプロジェクト・チームとする。

〔プロジェクト・チーム規程〕

(プロジェクト・チーム)

第2条 市の行政に関する重要な事項で、大船渡市行政組織規則（平成11年大船渡市規則第7号）の現行の組織で処理することが適当でないと認められる事務であつて、短期間に解決することを要するものの企画、調査又は研究を行わせるため、プロジェクト・チームを置くことができる。

(組織)

第4条 プロジェクト・チームは、プロジェクト・チームの総括者としての班長及び班長以外の職員（以下「構成員」という。）をもつて構成するものとする。

4 班長及び構成員は、現所属のままでプロジェクト・チームの事務に専ら従事するものとする。ただし、班長が認めた者は、専ら従事することを要しない。

(関係課の協力依頼)

第8条 プロジェクト・チームの事務に関係のある課等は、当該プロジェクト・チームの運営に積極的に協力しなければならない。

(権限)

第9条
2 プロジェクト・チームの事務に専ら従事しない構成員についても、班長は当該構成員の現所属長と協議し、必要に応じ当該プロジェクト・チームの事務に関し、当該構成員に対して時間外勤務、休日勤務及び旅行を命ずることができる。

つまり、プロジェクト・チームの活動は…

▷市の行政に関する重要な事項を短期間に解決することを要する！

→慎重かつ大胆に進めつつも、**スピード勝負！**

▷業務として行うことが**大前提**

→任意のグループや勉強会とは異なる！

→**時間外勤務**を行う場合には、デジタル戦略課で処理するので副班長の**及川係長まで連絡**を！（例：選挙事務と同様の取扱）

→PT業務で時間外勤務を行う場合に、トランスフォーメーションできていないやり方はすぐわないので、ごくごく簡素化！Slack or LogoチャットでOK！

▷組織からの任命・指名ではないので、所属する組織の考えに沿うのではなく、**メンバーそれぞれの発案**

→よって、**自由なアイデア出し**をお願いします！